

22 ヨシゴイ

(ペリカン目)

兵庫県ランク:A

Ixobrychus sinensis

繁殖個体群:A 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:NT(準絶滅危惧)

種の概要

北海道、本州、四国、九州では夏鳥、沖縄では冬鳥。兵庫県では主に5-11月に見られる。ヨシ原、沼沢地、水田などに生息し、小魚類やカエル類、エビ類などの水辺の小動物を捕食する。主にヨシ、ガマなどが密生する茂みの中に営巣する。



写真提供:小坂時弘

国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(明石市)、(西宮市)、(伊丹市)、豊岡市、加古川市、(南あわじ市)、(加東市)、稲美町、(播磨町) ※県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

かつては県内各地の海岸や河口、池沼のヨシ原に広く繁殖していた。近年は生息地の多くが失われたため急減している。現在は、確実に繁殖している場所は極めて少なくなっている。通過個体を含め、個体数は少ない。

保護上の留意点

本種の生息には広大なヨシ原、湿地やため池を必要とするため、それらの環境の保全が必要。また、減反により休耕となった田圃も水を張ることによって本種の好む湿地環境を創出することが可能である。